

補助事業番号 19-14

補助事業名 平成19年度 猟銃等の保安・安全対策補助事業

補助事業者名 社団法人 日本猟用資材工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

猟用資材、即ち猟銃等及び弾薬は、狩猟及び射撃の分野において長い歴史を有しているが、公共の安全、秩序の維持に密接に関わるものであるため、規制は強化の傾向にある。

また、猟銃等に対する社会一般の理解認識も、近年、自然保護思想の普及、レジャーの多様化、猟銃等・弾薬を用いた悪質な事件等も発生していることから、一層厳しいものとなっている。

本事業は、厳しい状況下でも猟銃の有益性並びに健全な銃砲スポーツ志向が認識される限り、猟銃等及び弾薬の安全性を基調とする品質性能の向上と安全な使用方法の啓発等を推進し、狩猟場所及び射撃場の環境対策にも積極的に取組み、もって公共の安全を確保し、同時に猟銃等を使用して行う「狩猟」や「射撃」についての有用性など正しい理解を広め、そのことを通じて、機械工業の振興に寄与することを目的とするものであります。

(2) 実施内容

① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等

(イ) 3点検圧銃身の新設

非鉛装弾の開発において、重要な性能である銃身内腔圧を評価しなければならない。

また猟銃製造時には所定銃身部位における所定圧力を有する装弾により、必ず耐圧試験を実施しなければならないが、この耐圧試験用装弾の開発及び製造等を可能にするため、3点検圧銃身を新設した。

(ロ) 猟銃等及び弾薬の性能・型式等の試験・研究

i) (社)日本クレー射撃協会より依頼の公認装弾の検定検査

本年度は平成19・20年度の追加検定検査を実施した。

輸入装弾 3社 8弾種

検査項目は散弾の実測及び装弾の弾速、腔圧である。

ii) 日本遊戯銃協同組合より依頼のエアソフトガンの威力・型式検査

平成19年度は16件実施した。

検査項目は弾丸重量、弾丸直径、弾速を測定し、威力を検査するものである。

iii) 日本エアースポーツガン振興協同組合より依頼のエアースoftガンの威力・型式検査
平成19年度は3件実施した。

検査項目は弾丸重量、弾丸直径、弾速を測定し、威力を検査するものである。

② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

(イ) 鉛散弾回収・再利用のシステム化

国内射撃場の鉛散弾等の環境汚染問題の対策促進の資料とするため、射撃場の鉛散弾環境汚染対策の進んだ欧州射撃場(イタリア、ドイツ)で実施している諸対策の実施状況等を、過去に実績のある日本貿易振興機構(JETRO)に調査依頼した。

2. 予想される事業実施効果

① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等

(イ) 3点検圧銃身の新設

- i) 国内流通の非鉛装弾の銃身各部の腔圧を測定できるようになった。また、非鉛装弾の性能改善、新製品開発のための研究を適宜できるようになった。
- ii) 猟銃製造業者が工程検査で実施している耐高圧試験で必要な所定性能の装弾を、適宜に製造できるようになった。
- iii) 猟銃等及び装弾の安全性向上、品質向上・新製品開発に多大の寄与をするものである。特に耐腔圧試験等の安全性試験を要求されている海外に、その製品の大半を輸出している猟銃製造業者、並びに非鉛装弾を開発している装弾製造業者に今後とも大きく貢献していくものと考えられる。

(ロ) 猟銃等及び弾薬の性能・型式等の試験・研究

当工業会の試験検査所に設置している各種設備及び測定機器は、我国唯一の弾薬の性能検査機器であり、銃砲スポーツの関係団体、会員企業等の依頼による試験・検査を実施することにより、製品の安全性確保と品質向上、新製品開発等に多大の成果をあげている。

- i) (社)日本クレイ射撃協会より依頼の検定検査は同協会の公認制度の維持発展と製品の品質向上に寄与すると共に、クレイ射撃の競技力向上に寄与している。
- ii) 日本遊戯銃協同組合及び日本エアースポーツガン振興協同組合より依頼のエアースoftガンの威力検査は、同組合の製品に対する自主基準の維持を担保するもので、玩具としての安全性確保と事故防止に不可欠の検査であり、エアースoftガン業界に多大の貢献をしている。
- iii) (社)日本クレイ射撃協会の公認制度の検定検査、日本遊戯銃協同組合等の威力検査等を通じ、製品の品質・性能の維持向上に寄与することにより、銃砲スポーツの健全な

育成発展と業界振興への効果が期待される。また、各種試験・検査により製品の安全性確保と事故防止への効果も大きく、製品特性から求められる公共の安全確保に果たす役割も大きいものがある。

② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

(イ) 鉛散弾回収・再利用のシステム化

今回の「欧州射撃場の環境対策実施状況」の調査結果は、当工業会等が実施している「鉛散弾回収等の助成事業」における鉛汚染対策の指導マニュアルに反映でき、国内射撃場の鉛散弾等による環境汚染対策を促進し、環境改善を図るための貴重な資料となった。

3. 本事業により作成した印刷物等

1) 平成19年度猟銃等保安・安全対策に関する事業報告書

- ① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等
- ② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 にほんりょうようしざいこうぎょうかい 日本猟用資材工業会

住所： 郵便番号 103-0022

東京都中央区日本橋室町4丁目1番1号(水産機械ビル3F)

代表者： 会長 うへだ ふみひで 上田 文英

担当者名： 専務理事 なかざと のりお 中里 典男

電話番号： 03-3275-3886

F A X： 03-3271-8573

E-mail： mail@saama-japan.com

U R L： <http://www.saama-japan.com/>